

【インドネシア】

11-12 月の市場動向トピックス

- 2018 年 11 月の訪日インドネシア人数は、前年同月比 12.4%増の 32,100 人で、11 月として過去最高を記録。
- 2018 年 12 月の訪日インドネシア人数は、前年同月比 3.2%増の 54,000 人で、12 月として過去最高を記録。
- 前年は 12 月に設定されていた祝日が今年は 11 月に移動し、より長期の連休が取得しやすくなったこと等もあり、訪日者数は 2 桁台の伸びを記録した。5 月から新規就航したインドネシア・エアアジア X のジャカルタ-成田線が 10 月から運休したが、同社の経路便振替を利用した一定数が訪日したと考えられる。

11-12 月の主なプロモーション活動

- 11 月から複数回にわたり、インドネシアにおける航空会社5社との共同広告を実施した。主に秋・冬・春にかけての訪日需要喚起を図ることを目的に、日本行き航空券について最大約 40%割引の特別運賃を設定し、オンラインでは Google など、オフラインでは最大手新聞である Kompas 紙に広告を出稿した。



共同広告記事一例

- インドネシア語公式 Instagram ページ(1月15日現在、フォロワー数 20,800 人)を活用して、11 月・12 月は主に「東北地方」の魅力 PR した。投稿の内、最もいいね！数が多かったのは、きつね村(宮城県)であった。また、今後、訪日の際に見ることができる雪、桜に関する記事に注目が集まっており、訪日予定者の情報収集に SNS が活用されていることが窺える。



きつね村(宮城県)の紹介(12月21日)



鶴岡公園(山形県)の紹介(11月9日)

インドネシア語公式 Instagram サイト <https://www.instagram.com/jntoid/>